

令和元年度 第4回岡山市子ども・子育て会議 (議事録/要約)

日時：令和2年2月14日(金) 午前9時30分～午前10時40分

場所：岡山市勤労者福祉センター5階体育集会室

開会

- ・局長挨拶
- ・会長挨拶
- ・成立確認・・・委員20名中19名出席にて定足数を充足し、成立を確認。

議事

議事進行は会長

(1) 岡山市子ども・子育て支援プラン(案)について

こども企画総務課長 [資料に沿って説明]

委員 資料1-1、パブリックコメントでいただいたご意見について。3番目の保育士の給与水準を高くすべきというご意見について、市の考え方が処遇改善について1%上乗せして改善を図っていくという内容だが、お金だけではなく、福利厚生の実も図ってほしいという意見もある。それから4番目、「待機児童を解消し、入りたいときに保育園に入れるようにしてほしい」という意見に対して、回答が受け皿づくりをやりますということだが、いつでも入れる状態ということは、全ての保育園に常に定員割れをしておいてくださいと受けとめられる内容かと思う。

それから、6番目に「保育園関連の事業は充実しているが」とあるが、充実はしていないと思うので、これは市民の皆さんに誤解があるんだろうと思う。

保育・幼児教育課長 ここに処遇改善のことを書いているが、経費の拡充については国に補助金等要望をしている。福利厚生についても、必要な経費は措置してもらえよう、引き続き国に働きかけていきたい。

保育・幼児教育担当局長 3点いただきまして、今課長のほうから市の給与の賃上げの努力についてはお話をさせてもらった。福利厚生については、民間の事業者さんにもそれぞれ工夫する努力はお願いしたいと思う。ただ、根底にはやはり保育士

不足でなかなか休みが取れないとか、そういったことがあるのかと思っている。それから、4番目、これはご意見として、入りたいときに入れるようにという、それは切実な問題として、育休明けにそろそろ育休復帰したいなというときに入れば、それは一番いいと、ご希望としては理解できるご意見だと思う。保育所さん、事業者さんには4月の時点では、できれば定員いっぱい受けていただいて、その後は弾力化を国も認めているので、定員を超えての受け入れ、保育士さんが足りてのお話なので軽々しく言えることではないが、是非弾力化ができるような、そういう状態にもっていきたいと思っている。

最後に、保育園関係の事業を充実、幼稚園関係の事業も充実、当然どちらもしっかりと岡山市としてできることはしていきたいと思っている。保育園関係が充実していないと言われるのは、今の状況では十分ではないかもしれないが、今できることをさせていただいていると、ここは言わせていただきたい。

委員 保育士確保策を進める秘策があれば教えてほしい。

保育・幼児教育担当局長 秘策があれば当然している。各自治体とも競い合って処遇改善、賃金、宿舍、奨学金等々、もう本当に競争しているような状態。それがいい状態かという、それは違うと思っているので、我々も国に対して公定価格、基本となるベース自体をしっかりと上げてもらえるよう強く要望している。

秘策ではないが、今夜市内10校の養成校の先生方を市長がお招きして懇談をする。実際に先生方のご意見を聞いて、学生さんの定着、地元への定着、どんなことを考えたらいいかご意見をいただこうと思っている。

委員 保育士と幼稚園教諭の賃金の中で退職金の区分の問題というのがある。それから役職別加算率の問題。処遇の面で同じように就学前教育を担っているのに、この格差が大きくずっと放置されている状態があるので、改善してほしい。

委員 もちろんお給料等の検討は大きな問題だとは思うが、やはり園内で勤務される方の悩みとか、いろいろ問題が発生すると思うので、上司にあたる方、園長先生なりが包容力を持ってご指導いただく、そして本人の仕事ぶりを認めてあげるといふことをもっと大きくしていただきたい。そうすると、ちょっと定着が、また保育士さんの職業という観点が変わってくるのではないかなと思う。

委員 一時預かりは保育園、幼稚園だけではなく、例えば「さんかく岡山」の中にも託児ルームというのがある。そこも生後6カ月から就学前の子どもまで預かれる。

そういう施設があることを皆さんにお知らせいただければ、もっと使っていただけると思う。託児ルームは幼稚園、保育園と同じように無償化の対象にもなっているの、そういうことをもっと広報してほしい。

委員 資料1-2の7番、一時預かり事業の指標のところ、基準値と目標値が定められている。これは前提としては認定こども園等の整備が進むことによって一時預かりの延べ人数がこれだけ増えるということなのか。単純に計算すると2.5%ぐらいになっていて、かなり増えているので。

保育・幼児教育課長 お見込みのとおり。認定こども園にあわせて新制度の幼稚園が増えることによる増加を見込んだものである。

委員 そうすると、一時預かりに必要な人員も増えることになり、全体的に保育士不足、教員不足が起こるのではないかと懸念する。非常に難しい課題。岡山市外あるいは県外へ勤める方が流出するということも聞いている。

あくまで一私個人の意見だが、保護者も、何に使うのか、どういう目的を持ってその金額を取るのかよくわからない場合には費用を下げてほしいという要望になるが、それが保育士の先生等の人材確保のために使われるのであれば、多少の出費はやむを得ないと考える方も一定数おられるのではないかと。

いろんなバランスをとるのは難しいとは思いますが、一方的なものに偏らず、全体バランスとして保育士の確保等に保護者の痛みと言うか、そういったことも一つの妥協点を探す上で、提示をされるというのは私個人としては必要だと思う。

委員 資料1-2の19番、特別支援教育支援員配置事業について、実績として、いろいろ支援員を配置したと書いているが、私立にはなかなか来てもらえない。スーパーバイザーを派遣していただいているが、こちらとしてはそのお子さんに何らかのケアが必要だと思ってお願いしているのに、まだ様子を見ましょうという方もいる。せっかく派遣していただければ、もうちょっと実効性のあるものにしてほしい。

幼保運営課長 私立の園にも、先ほどおっしゃられたように当市の職員で障害児保育の経験のある者が巡回相談という形で訪問し、お子さんを見させていただいている。その内容についてのご発言だが、障害を持つ子はそれぞれに特性等が異なるところもあり、行ってすぐに的確なアドバイスがというところがあったのかとは思っている。かなり各園からの要望は多い状況であり、そこは引き続き再度訪問なりと

というような形で適正な指導を受けられるように、こちらも努めていきたい。

委員 男性の育休がもっと浸透していけば、待機児童も少しは改善できるのではないかと
思うので、その辺の推進をもっと進めていただけたらと思う。

委員 2点質問がある。パブリックコメントの件数は、意見が多い順に書いてあるのか
というのが1つ。

それともう一つは、支援プランの比較の34番のところに、これまでは「学校園」
という言葉が入っていたのに省かれているのはどうしてか。

こども企画総務課長 パブリックコメントの順番については、基本的には多い順に並べ
ているが、プレーパークの件が半分以上というのもあり、ちょっと違うところも
ある。重要順とかそういうものではない。

こども福祉課 「子ども・子育て支援プラン2020（案）」の136ページのところには、
「民生委員・児童委員、学校園」と入れてある。こちらのほうが正しくて、比較
の表が間違っている。申し訳ない。

委員 先ほど男性が育休を取ると待機児童が減少するのではないかという意見があり、
回答がなかったが、これは回答をいただきたい。育休で待機児童が減少すると
なると育休退園を検討するのか。

保育・幼児教育担当局長 男性の育児休業に今国が力を入れる、その根底にあるのは少
子化だと思う。子どもが減る原因は何かというと、子育ての負担感、お母さんだ
けに任せて、お父さんは何もしない、そういう風潮がずっと長く続いていて、そ
ういった空気を一掃しようということで男性の育児休業をシンボリックに今大き
く打ち出しているのではないかと思う。その方向性はすごくいいことだと思っ
ており、岡山市も男性職員に育児休業を取るように積極的に進めている。

そのお話と実際に入園の希望児童数、そして入れず待機児童になる子どもさん、
そこが直接結びつくかということ、育児休業をどれくらいの期間で取れるかとい
うことが問題になると思う。男性が1年も2年も育児休業を取れるかという
と、まだそういった社会状況ではない。なので、待機児童へ結びつくのかと聞か
れると、それとは直接的ではないとは思っている。ただ社会全体として先ほどい
たご意見は大変重要な指摘だと思う。

委員 子育てプランの素案と案の比較（1－2）のNo.18について、通級指導教室を市内
に4園設置とある。これについては増設を希望するが、増設される予定はあるの

か。

幼保運営課長 通級指導教室…ことばの教室だが、利用者が少しずつ増えていて、対応するために拡充について現在次年度に向けて検討を行っているところ。あと、職員の指導体制等についても、少しずつ拡充をしていきたいと思っている。

(2) 岡山市子ども・子育て支援事業計画(案)について

こども企画総務課長 [資料に沿って説明]

委員 第一期の計画では、30区域に対する候補園、ここを公立の認定こども園にするという候補園の一覧等も入っていたが、今回は入れる予定はないのか。

こども園推進課長 並列区の問題等もあり、また、中学校区で追加になったエリアで公立園が複数あるところについても同様に、これからまさに現在候補の選定作業をしながら地域への説明をさせていただいている状況にあるので、この時点で具体的な候補園についてこの計画の中にお示しをすることはできないと考えている。

委員 まだ候補園選定の最中ということであれば、やむを得ないのかなと個人的には思うが、どこになるのか非常に市民の皆さん、地域の皆さん、保護者の皆さんは心配されるというか関心が高いところではあるので、随時そういったところの情報も流していただけたらと思う。

委員 事業計画の13ページの(6)「1園ずつ整備するとともに、その他の市立施設は民営化や廃止を含めて検討します。」とあるが、保育士がいなくてもどうやって民営化をするのか。

保育・幼児担当局長 岡山市には保育士養成校が10校あり、卒業生が600人ぐらいおられる。そのうちの四百何十人が保育関係の仕事で生活されるような数値は持っている。何に尽きるかと言うと離職防止かなど。水道管の水が入っていくけど、ここからどンドン底がなくて抜けていたらいつまでたっても増えない。そこをきちんと水がたまるようにするというのが必要なのかと思う。

会長 副会長さんは今保育士を養成する大学にお勤めなので、お話を伺えたら。

副会長 学生たちは保育士になりたいとは思っている。岡山市の園長会は親子一緒に育てようということのを合い言葉にしており、学生もそういう中に入りたいという気持ちで一生懸命勉強している。大学には県外からきている学生もいるが、岡山の幼児教育は充実しているから岡山に就職したいという学生が沢山いるので、また育てていきたい。

会長 就職するときには生きがいを持って就いているのだと思うが、就いた後も生きがいを感ぜられるような、そういう環境が大事なのかなと思う。

委員 保育士不足は離職が一番大きな原因だと私も考えているが、やめる理由が賃金なのか、いろんなものがあると思うので、そこを明確に探っていただきたい。3年とか5年で、どれくらいの割合の人が辞めているのか。特に私立の園では多いと思う。だから、そこを改善しないと入れてもだめだと思うし、そのリスクを減らしていただきたい。公立と私立で保育士を取り合うようなことがないようにしてほしい。非正規の保育士さんも今非常に増えているので、その人たちの待遇についても考えてほしい。

それと質問だが、3歳児教育の充実ということで、この春から6園を始めるということだったが、定員に対してどれぐらいの応募があったのかとか抽せんの状態とかを教えてください。幼稚園・こども園での午後の一時預かりが、公立でどのように行われているのか。実際利用者があるのか、実施している園がどれぐらいあるのかとか利用人数とかが分かれば教えてください。できれば充実させてほしいので。

幼保運営課長 3歳児教育のことについて。次年度から新たに6園、1クラス20名ずつということで募集した。ニーズが高い地域で考えさせていただき、いずれも8割を超える申し込みがあった。6園中3園については、定員を上回る申し込みがあり、抽せんをさせていただき、その3園で合わせて20人程度の待機ができる状況になっている。

それから、午後の一時預かりの状況について。公立の認定こども園（12園）では、今年度の延べ利用日数が、月々100日から200日の間となっているが、実は、無償化が始まった関係で利用される方が10月からかなり増えている。

委員 無償化したのに教育が受けられないという人がたくさん出たから、3歳児のところを増やしたということだと思うが、やはり受けられる人と受けられない人がいるというのは問題だと思う。支援プランにも質の高い教育が受けられることを全ての子どもに保障していくと書いてあった。そこの矛盾を解決しなければいけない。

委員 こども園の説明にいろいろ回られていると思う。説明に来られるときにしっかり意見を聞いていただき、量の見込みだけでなく、場所的なことも考えて、ニーズ

のある場所にこども園をつくっていただきたい。

会長 (3) その他

会長 になあるか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

閉会